

## 「街に光を貼り付ける参加型イルミネーション」

- ・所在地：東京都世田谷区
- ・施主：尾山台商店街商栄会
- ・設計者：村川和隆、鈴木亮、長谷川瞳、宮島奈緒
- ・竣工：2011年
- ・資料提供：正会員 村川和隆 (SIRIUS LIGHTING OFFICE)

地域愛着を生むために街の人の手によるイルミネーションを実現するための活動。住民（子ども）が自分で考え、自分の手で街に光を取りつけるイルミネーションを通して、街の景観、シーケンス、認知、愛着、公共性、防犯などの項目を総合的に高めることを目指している。

自分が住みたい街のイルミネーションを模型空間にLEDで表現してもらい、実際の街でLEDと磁石を用いて街に貼り付けてもらった。扱いやすい材料と場を提供し、普段意識することの少ない街の光について、光の効果と場所との関係を自分たちで考えさせることを基本テーマとしている。



写真1: 出来上がった模型を商店街の入り口から見る。子どもたちがつくった光が街の景観となる。



写真2: 貼り付いた光を眺めながら帰る家族

### ■模型でのイルミネーション

東京都世田谷区ハッピーロード商店街の一部を抽象化し表現したS=1/25の街模型へのイルミネーション。子どもの思考で表現された街のイルミネーションを分析することで、新しい風景の提案を行う。初めて会う子ども同士にルールがない自由な街で表現してもらい、斬新な照明提案を生むことと、街のあかりをつくりながら光について学ぶことを目的とした。



写真3: 窓あかりをお店の開口に表現する子ども

### ■磁石を用いて街に貼り付けるイルミネーション

7色に光るスイッチ付LEDと磁石を組み合わせて顔の付いたマスコットを作り、商店街の様々な箇所に貼りつけてもらった。作品を街に貼りつけることでワークショップ参加者だけでなく、通りがかりの人にも光のアートを楽しんでもらうことを意図した。1人1人がつくった光が集積して街全体のイルミネーションを創りだしている。街が持つ形状や素材の特徴を引き出し、より立体的にイルミネーションを楽しむことができる。



写真4: 街の形状にあわせて広がる新しいイルミネーション